

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	老朽管の更新を進める事業					担当部	上下水道部	
	会計区分	水道事業会計		事業類型	施設整備系	担当課	水道課		
	事業期間	平成12年度以前		～	平成30年度以降		担当係	建設係	
	総合計画 分野別計画	主目的	5 都市基盤		24 水の供給		2 老朽管の更新を進める		
		副目的	24-3						
	予算区分	款	1	項	1	目	2	大	中
	根拠法令・個別計画	第3期拡張第1次変更事業(平成21年3月31日認可)							
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	老朽管の更新を計画的に進め、安定性の高い水道施設の構築を行い地震災害や自然漏水の被害抑制を図る。							
	内容 (手段)	<p>◆24年度実施内容</p> <p>○耐用年数(40年)を経過した配水管を、漏水事故の軽減効果や耐震化の進捗、更新の優先順位の設定による投資効果等を考慮して、管路の適切な更新サイクル、適切な事業規模の設定等により、平成21年度より毎年約15.0kmの布設替えを目標に計画的に更新する。 また、平成16年度よりφ200mm以上の管は耐震性ダクタイル管を採用し、平成22年度からはφ150mm以下の配水管についても、耐震性に優れたポリエチレン管を採用している。 平成24年度は、平成23年度からの繰越事業と合わせ約16.0kmを実施した。</p> <p>◆24年度直接経費の内訳</p> <p>H23繰越事業費の内15節 0円、20節 76,495,650円 H24決算額の内15節 52,206,000円、20節 439,750,500円 合計 568,452,150円</p> <p>※その他財源の内訳</p> <p>消火栓設置工事負担金 5,010,210円 下水道工事負担金 91,911,180円 区画整理工事負担金 70,703,510円 小牧市河川課工事負担金 1,160,560円 愛知県尾張建設事務所工事負担金 12,658,560円 愛知県尾張農林水産事務所工事負担金 23,263,440円 一般会計出資金 100,000,000円 合計 304,707,460円</p> <p>◆25年度直接経費の内訳</p> <p>H24繰越事業費の内15節 0円、20節 88,400,000円 H25予算額の内15節 52,031,000円、20節 577,532,000円 合計 717,963,000円</p> <p>※その他財源の内訳</p> <p>H24繰越事業の内 下水道工事負担金 42,000,000円 区画整理負担金 23,500,000円 愛知県尾張農林水産事務所工事負担金 22,000,000円</p> <p>H25予算の内 消火栓設置工事負担金 11,229,000円 下水道工事負担金 117,250,000円 区画整理負担金 111,891,000円 一般会計出資金 100,000,000円 合計 427,870,000円</p>							
	受益者負担	無							

コスト	費用			単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額
		直接経費		千円	510,512	755,891	568,452	717,963
費用	正職員	従事者数	人	1.91	1.80	2.00	1.68	
		人件費	千円	10,180	9,594	10,660	8,954	
	その他職員	従事者数	人	0.48	0.75	0.98	0.82	
		人件費	千円	1,215	1,899	2,526	2,113	
	費用合計	千円	521,907	767,384	581,638	729,030		
	対前年比	%		147.0	75.7	125.3		
財源	一般財源	千円	79,933	367,568	276,931	301,160		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	441,974	399,816	304,707	427,870		

業 績	活動指標名		単位	H22	H23	H24	H25
	老朽管の更新を進める	km	目標	30.0	45.0	60.0	75.0
			実績	25.4	49.0	65.0	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H22	H23	H24	H25
老朽管の更新率	%	目標	16	24	32	50	
		実績	17	33	43		
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成24年度の実施結果		事業の達成状況		
	平成24年度の実施結果	事業実施における課題	水道管の更新工事で、水道管を埋設する公共用地の形状、幅員によっては、更新工事における占用位置が確保できない状況がある。		
		事業を縮小・廃止したときの影響	地震災害などによる配水管の破損率が大きくなり、多くの市民が安定的な水供給を受けることができなくなる。		
		平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	他占用者と埋設位置の調整を十分図り、占用位置を確保する。また、他工事との調整により効率のよい更新工事を進めていく。	
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)	
		判定理由	老朽管の更新事業は、安全で安心なおいしい水が安定供給されるための継続的実施が必要である。		
26年度以降の改善案		比較的口径の大きな水道管の非掘削更新工事等新しい技術開発情報を敏感に捉え、導入の可能性を検討していく。			

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。